



48号 令和5年9月26日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

# 校長だより

呉市立市阿賀小学校  
安宗 誠



## 呉市小学生童話大会に向けて

本日のお話朝会で、10月1日（日）に行われる呉市童話大会に出場する大塚緋奈乃さん（5年）がそのお話（土家由岐雄 文・式部本一郎 絵『かわいそうな そう』）を披露してくれました。その発表を聴いて、私が思ったこと・感じたことは・・・。

「どうぶつえんの ひとは、めを うるませて、このはなしをしてくれました。」の この「どうぶつえんの ひと」とは・・・。

このお話は、1951年。戦後間もなく発表された作品。とすると、この「どうぶつえんの ひと」とは、もしかすると、3頭の象の飼育係だった人かもしれませんね。

そして、もうひとつ気になるところ。

『こぶしをふりあげて さげびました。「せんそうを やめろ。」「せんそうを やめてくれえ。』とは、だれに向かってさげんだ言葉なのでしょうか。東京の空に攻め寄せてきた敵の飛行機に対してなのでしょうか・・・？いや、そうではないでしょう。戦争をしているすべての国、すべての人に対してさげんだ言葉にちがいありません。そこがいちばん大事です。

そのことがしっかりと表れるように大塚さんは発表してくれました。

大塚さんは1学期のころから、この絵本を選び、しっかり読み込み、1つ1つの表現に込められた思いを捉え、それがどうすれば聞き手に伝わるか、毎日毎日工夫を重ねてきたそうです。こういうことができる力はこれからの時代を生き抜くどの皆さんにとっても特に必要な力です。阿賀小の代表になるために今回のオーディションにも何人ももの阿賀っ子が挑戦したことはとてもうれしいことです。

この土曜日に行われる呉市童話大会では、大塚さんはきっと今日のようにすばらしい発表をしてくれることと思います。

### お話朝会の様子

